

事業者用自己評価表

令和5年度

A…はい

B…どちらとも言えない

C…いいえ

		チェック項目	評価	評価内容・改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係性で適切であるか	A	活動が行えるスペースについて、利用定員は適切である
	2	職員の配置数は適切であるか	A	常に利用者の動きなどを把握できるよう職員配置を行っており、適切である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	B	トイレに手すりが無いなど、改善する余地はある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	A	日々の支援をより良いものにしていくため職員会議を開き、また随時意見交換して、情報の共有を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	A	保護者等向け評価表の結果について、特に「ご意見」は重要視し、改善に向けて検討している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	A	当事業所のホームページにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	B	虐待防止委員会などには第三者が任命されているが、業務全体をチェックする機関は無く、今後の課題である
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	A	時間が許す限り外部研修への参加、事業所内での研修を実施している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	A	保護者等と随時、また定期的にあセスメントを行い、個別支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	B	独自のアセスメントを行っているが、標準化されたアセスメントツールの導入を検討中である
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	A	チームはないが職員全体がいわばチームで、活動プログラムを立案、検討し、実践している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	A	曜日により利用者が違うし、また来所時間も変わるので、自然と固定化しないようになっている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	B	きめ細やかに設定したところでそうはならないことが多く、その場の状況に応じて流動的に設定、実践を行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団生活を適宜組合せて放課後等デイサービス計画を作成しているか	A	個々の利用者の状況に応じ、個人と集団とのバランスを考慮して作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	A	特に役割分担しているわけではないが、その場の状況に応じて支援内容や役割の確認を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	B	業務終了後、特に打ち合わせと称することは行っていないが、それぞれ気付いた点、伝達事項など職員間で共有を図っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	A	支援において気付いた点などは、逐一メモを取るなど忘れないように正しく記録し、次の支援につなげている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	A	期間を設定し、その期間のモニタリングの結果を基に、個別支援計画の見直しが必要かどうか、判断している
関係機関や保	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	B	「地域交流の機会の提供」をどう組み合わせるか、課題である
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	A	会議には利用者の状況に精通した者が出席するようにしている
	21	学校側との情報共有、(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	A	学校とは当然のように情報共有、利用者の下校時刻の確認、連絡調整などを行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	B	現在、医療的ケアが必要な利用者はいないが、連絡体制だけはいつでも取れるようにしておきたい

護者との連携関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	B	連携が取れているとは言い難いが、保護者等を通じてできる限りの情報を集めようと努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	B	当事業所からの積極的な働きかけはしていないが、要請があれば情報を提供する準備はしている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	B	連携しているとまでは言えないが、機会があれば研修に参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	C	なかなか交流する機会が無いのが現状で、今後の課題である
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	B	西区地域部会の行う研修・講演には参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	A	送迎時の面会の機会を利用者の状況を伝え合っているし、電話やラインも活用して共通理解を持とうと努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	B	ペアレント・トレーニングまでは無理だが、保護者に適切なアドバイスをしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	A	利用契約時には、詳細な説明を丁寧に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	A	相談内容を真摯に受け止め、適切な助言と支援を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	C	父母の会、保護者会といった実体のあるものが無いし、今後も立ち上げる予定はないが、何か交流会のようなことができないか、検討しているところである
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	A	第三者委員を含めた事故・苦情解決委員会を設置しており、苦情・相談については、受付担当者と解決責任者を明確にするなど、迅速で丁寧な対応を心掛けている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	A	行事予定表を毎月発行したり、活動の様子をラインで発信しており、会報についても発行予定である
	35	個人情報に十分注意しているか	A	必要最低限の情報を必要な時にだけ、という意識をしっかりと保つよう心掛けている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	A	意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているが、今後もさらにその意識を高めていく
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	C	事業所の行事自体、バザーのような地域住民を招待するものではないが、今後地域との連携を進めていく	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	B	マニュアルは作成しているが、保護者への周知は難しく、他のマニュアルも含めてどう周知していくか、今後の課題である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	A	法令上、最低限必要な訓練については、きちんと行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	A	外部の研修会に参加したり、事業所内で研修を行うなど、虐待防止に努めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	A	職員がやむを得ず身体拘束を行ってしまう可能性のある利用者の保護者への説明、了解を得て同意書を作成し、利用者の経過観察を行い、記録し、個別支援計画にもその旨記載するようにしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	A	医師の指示書とは限らないが、保護者等からのアセスメント等により対応をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	A	事例発生後に当事者(第一発見者)にヒヤリハット報告書の記録を義務付け、職員がいつでも閲覧できるようにしており、再発防止を心掛けている